

Rainbow Times

Children's Rainbow Center Newsletter

Vol.2 Winter - Spring 2004



INDEX★TOPICS

子どもの虹情報研修センター、平成 16 年度研修予定が決定！

子どもの虹情報研修センター紀要が発刊されました！

ジェーン・グドール先生(霊長類研究者)特別講演、開催される！

「One More Time, One More Sakuragicho(桜木町)」(仮)連載スタート！

Rainbow Times

の存在を職場の方にPRしてください！

この Rainbow Times はみなさんとの交流のための新聞です。

読者のみなさんからの積極的な投稿をお待ちしております。

☆ 子どもの虹情報研修センター 平成16年度研修予定が決定!

平成16年度子どもの虹情報研修センター「虐待対応研修」の研修予定(期日)が決定しました。平成16年度研修の予定は、2月に各関係機関に送付いたしました。また、ホームページ上でも確認いただけますので、是非とも、該当する研修の予定をご自身の手帳にお書き入れの上、センターの研修にご参加ください。各研修の実施要項や詳しい研修内容は、各研修の5ヶ月前には、対象の機関に送付するよう努めます(ガンバリマス...)。また、ホームページにも逐次アップしていきますので、ご覧下さい。

今年度は、新たに、早急な整備が求められている「新設情緒障害児短期治療施設職員研修」が加わります。新しい施設ができる時、スタッフの意気込みも、パワーも、大きなものがあると思いますが、システムとして整うまでには、いろいろと考えなければならぬ課題も多いものです。(子どもの虹もそうですが...) 新しいものを作るときに、「大切にしなければならないもの」は何かを一緒に考えられる場となれば幸いです。

また、ほかの研修も、バージョンアップしていますので、今後とも、奮ってのご参加、お待ちしております。
(「平成15年度専門研修より」)



☆ 子どもの虹情報研修センター 紀要2003(Vol.1)発刊!

子どもの虹情報研修センター紀要2003(Vol.1)が昨年の8月に発刊されました。これも、関係機関に送付いたしました。また、9月からの研修では、配布資料として、研修参加者の方にお配りしております。記念すべき第1号の紀要には、小林センター長の巻頭論文、小倉清先生(児童精神科医)の記念論文「子どもは本当に変わったか?」(書き下ろし)を始め、研修講演記録、研修受講者からのエッセイ、研究報告など、盛りだくさんです。ご活用下さい。

また、紀要をご覧になりたい方は、センターのホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧下さい。また、センター紀要2004(vol.2)は、今年(2004)の初秋にはホームページにも掲載できると思います。そちらもご期待ください。

★ジェーン・グドール先生(霊長類研究者)の特別講演が開催される!!

平成15年11月14日(金)午後1時より、平成15年度児童相談所心理職員指導者研修の最終日、特別講演として、ジェーン・グドール先生(Jane.Goodall)の「チンパンジーの子育て」の公開講演が開催されました。当日は、研修受講者のほか、外部からの参加者も加わり、100名近い聴衆のもと、グドール先生の特別講演が行われました。

講演は、グドール先生の「私は、日本語でのあいさつができませんが…」という言葉の後、なんと、チンパンジーのあいさつから始まり、グドール先生のスタッフの方もチンパンジーのあいさつで呼応されるといった、ユニークなオープニングから始まりました。

すっかり、センターの大研修室が、アフリカの森になったような雰囲気の中、グドール



先生のお話が続きました。人間とは、遺伝子上1%程度しか異なるチンパンジーの子育ては、とても興味深いものがありました。

チンパンジーも、親からの愛情をきちんと受けたチンパンジーのほうが、子育てがスムーズにいくこと、また、そうでないものも、経験を通して、子育てが上手になっていくことなどが、話されました。

また、(巣立ちの早い動物が多い中でも...)チンパンジーは、5歳くらいまで、親が子どもを育て、後は兄弟が世話をすること

や、成人したチンパンジーのケンカを仲裁する老母のチンパンジーの話等々、とても興味深いエピソードが語られました。一方、自然保護を中心とした人間の子どものための学習プログラム“ROOTS & SHOOTS”も紹介されました。

質問の中で、チンパンジーの世界には虐待はほとんど見られないこと、虐待といっても、未学習による子育ての失敗(積極的な虐待はない!とのこと)によるものが時に観察されること、など興味深いことも話されました。チンパンジーには虐待がないのに、人間は...と考えさせられます。また、研究に対する姿勢など、おもしろいエピソードも披露されました。

本来は、先生のサイン会も企画されていましたが、その時間も質問に費やされ、非常に豊かな時間が、センターの森の中では流れていました。グドール先生、本当にありがとうございました。(なお、この講演記録は、研修DVD・ビデオとして貸出が検討されております。)

<ジェーン・グドール(Jane.Goodall)先生のご著書の紹介(一部)>

『森の隣人 チンパンジーと私 (1996)』(朝日選書563) 朝日新聞社

『森と海からの贈り物(2002)』(ジャック・モイヤーとの共著) TBSブリタニカ

RainbowCenter と秘密の部屋

研修会講師によるリレーエッセイ

今回は特別編集のため、お休みします。次号以降をご期待下さい!

OneMoreTime,OneMoreSakuragicho(桜木町)

ここでは、宿泊施設のある横浜桜木町を中心に、横浜の最新情報？をお届けします。この新コーナーのタイトルは、山崎まさよしさんの曲名をアレンジしました。(お借りしますね)
また、「桜木町ぶる～す」とタイトルを変更する時も(笑)あります。ご期待下さい！

#1 東横イン横浜桜木町「謎の朝食」

初回は、宿泊施設の東横イン横浜桜木町を紹介します。宿泊された方は、もうご存知と思いますが、センターの研修で利用している東横イン横浜桜木町は、横浜みなとみらい地区にあります。無駄を排除したスマートなホテルですが、実は、「軽い朝食」がホテルの方で用意されております。普通、ホテルは、朝食代を支払ってのバイキング形式の朝食が多いと思いますが、ここは、何と！無料で、おにぎり、味噌汁、コーヒーが用意されているのです。

朝7時よりホテルのロビーにて、バイキング形式で振舞われておりますので、ご利用ください。

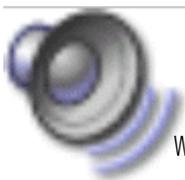
もしも、もう少し違うものが食べたい方は、近くにコンビニがあります。私は、朝はそれほどしっかり食べないほうなので、軽めのおにぎりはうれしいです。また、交流会の次の日、味噌汁が、美味しいです。ということで、まだ東横インにお泊まりでない方へ、



(東横イン横浜桜木町の「朝食の風景」)

謎の「軽い朝食つき」のご紹介でした。出発前の一杯のコーヒーを楽しまれている方も見受けられます。ただし、センターまでの送迎バスは、時間には出発しますので、乗り遅れのないようご注意ください！

(次回も、横浜桜木町の穴場を紹介する予定です。みなさんの最新情報もお待ちしてます)



編集者のつぶやき...

大変遅くなりましたが「RainbowTimes」Vol.2 発刊です。もう3月、春なのに Winter-Spring でごめんなさい。また、各連載もお休みです。申し訳ありません。(それなのに、新シリーズが始まっています。) そんな第2号、いかがでしたか？

今回も、センターからの情報がメインになってしまいました...(許す！)

この新聞は、これからも季節ごとに発行していきます。もちろん、みなさんからの投稿が紙面を盛り上げます。お気軽に、ご投稿をお待ちしております。(hiro)

Rainbow Times

企画・編集室

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地 子どもの虹情報研修センター内

TEL 045-871-8011 FAX 045-871-8091 Email info@crc-japan.net